

全国センターだより

2024 WINTER vol. **109**



- 巻頭言……………常に前向きに
- 年頭のご挨拶
- 寄稿……………暴力団離脱者への社会復帰支援等の取り組みについて

センターだより

東 西 南 北

4年ぶりに開催した県民大会

(公財)青森県暴力追放県民センター

10月25日、「第32回暴力団追放・銃器薬物根絶青森県民大会」を、コロナウイルス感染症拡大防止のため延期としていたところ4年ぶりに開催しました。

コロナウイルス感染症が収束したわけではなかったことから、これまでよりコンパクトの開催としました。

挨拶や祝辞については、主催者側3人、来賓1人とこれまでの半分に減らしたほか、参加者についても減らし約400人、席を一つ空けて座らせるなど工夫をしました。

一方、暴力団追放作品コンクール金賞受賞者等に対する表彰式では、警察音楽隊の協力を得、生で得賞歌を流すなど荘厳なものとなりました。

久しぶりの開催で職員一同戸惑う面もあったのですが、今後もより充実した大会になるよう努力して参りたいと思います。

せっかくの機会でございますので、当センター職員4人について紹介させていただきます。

まず、M事務局長。強行犯出身で、正義感が強く、先々を見越してマルチタスクに業務をこなすスーパーマン、自分でコーヒーを抽出するなどこだわりがあります。

次に、K業務課長。暴力犯出身で、現役を退いた今でも対象者ににらみをきかせ、ゴルフ上級者、時間外を利用して少年達に空手を指導するなどタフガイです。

次に、K経理課長。複雑な公益財団の経理を適正・的確に処理、雑用等も笑顔で一手に引き受け、茶道にも精通、当センターに一番なくてはならない存在です。

最後に、T専務理事。知能犯出身で、昨年3月警察官を退職、同年6月から勤務する新米職員です。

今後も、全国及び各地区暴追センターのご指導等を受けながら精進して参りますのでよろしくお願い申し上げます。



青森県民大会

第32回神奈川県暴力追放県民大会の開催

(公財)神奈川県暴力追放推進センター

当センターが主催し、神奈川県と神奈川県警察が後援する「第32回神奈川県暴力追放県民大会」を、令和5年9月7日、神奈川県立音楽堂において開催しました。

当県では、毎年県民大会が開催されていますが、新型コロナウイルス感染症防止のため、令和2年度と令和3年度の2回は中止となり、令和4年度は入場制限を実施しましたが、今年度は、入場制限もなく開催となりました。

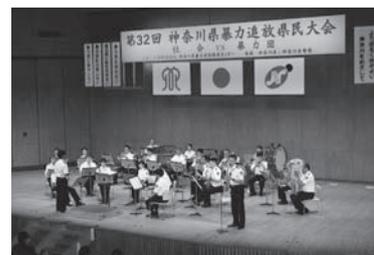
大会には、横浜地方検察庁検事正、神奈川県弁護士会会長、神奈川県公安委員会委員長をはじめ、多数のご来賓ご臨席のもと、当センター賛助会員、県内の地域



神奈川暴追県民大会

や職域の暴排協議会の方々など、約500人の皆様のご参加をいただき、盛大に開催することができました。

第1部では、当センター会長の神奈川県知事と副会長の神奈川県警察本部長の主催者あいさつに続き、暴力団排除活動に尽力された団体及び個人3名への表彰状の授与が行われ、神奈川県弁護士会会長から来賓を代表してのご祝辞をいただいた後、受賞者代表による力強い大会宣言で締めくくりました。



県民大会演奏

第2部は、神奈川県警察音楽隊による演奏が行われて閉会しました。

今後も、警察、弁護士会及び関係機関や団体と連携し、「暴力団が存在しない、明るく住みよい神奈川」を実現することを目標に向けて邁進していきたいと思っております。

入口暴排の推進～少年の暴力団等反社会的勢力への加入阻止

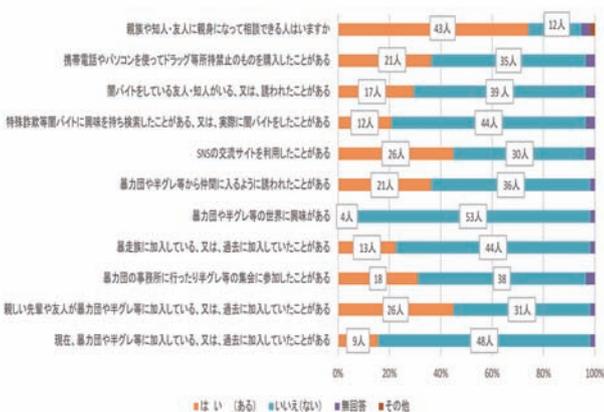
(公財)愛知県暴力追放運動推進センター

当センターでは、暴力団離脱者の社会復帰対策である「出口暴排」と並行して「入口暴排～少年の暴力団等反社会的勢力への加入阻止」を愛知県警察本部捜査第4課、少年課と連携して積極的に推進しており、愛知県下の3少年院(愛知少年院、豊ヶ岡少年院、瀬戸少年院)の少年院生約100名に対して年間4～5回にわたって講話や個別面談を実施しています。講話で暴力団員からのやくざになったことを悔いる内容の手紙を紹介したところ、大きな反響があり、少年院生からは「一度は金ほしさや裏の世界に憧れて本気でやくざになろうと思っていたが、手紙の内容を聞いてやくざになった後悔の気持ちがすごく伝わり改めて立ち止まれてよかったと思った。」「少年院へ来てはじめて自分自身と向き合うことができ、共犯者たちから得たことより、はるかに多くの大切な人や物を失ったことに気付いた。」等といった感想文が寄せられました。

個別面談の中では、薬物の密売、特殊詐欺の受け子、出し子、半グレとの交際、暴力団事務所への出入り等の経験が語られ、少年院出所後の引き戻しや報復を恐れ、援助・支援について真剣に相談する者もいました。講話・個別面談後の少年院生へのアンケート調査では、下記「アンケート結果(瀬戸少年院)」のとおり、暴力団や半グレ等から少なからず影響を受けていることが明らかになっています。

また、当センターでは風俗店等への立ち入り権限を持

アンケート結果(58人)



つ少年指導委員への研修も実施しており、地域に密着した少年指導委員の活動を通じて地元少年への暴力団の影響の排除と健全育成に努めています。

暴力団は、地縁の元暴走族やチーマーの他、SNSを利

用した薬物の勧誘、特殊詐欺や強盗に係る闇バイト募集、系列風俗店やAVへのスカウト等、犯罪傾向のない一般の少年をも犯罪に巻き込み組織への引き入れを狙っており、暴追センターとしては、少年が暴力団の人的供給源にならないよう少年の心に響く「入口暴排」を一層推進していかなければならないと考えています。

暴力追放三重県民センターの活動について

(公財)暴力追放三重県民センター

令和4年度には、新型コロナウイルス感染症の影響によって、様々な活動が制限せざるを得ない状況でしたが、5年度に入ってからでは会議やイベント等が再開される中で、各種取組を推進しているところです。

令和4年度には、会議等の中止が相次ぐ中で、特に実施可能な活動に注力し、県内の需要等を踏まえ、講習や暴力相談業務を充実すべく常駐の相談員1名の増員を図り、オンライン形式の講習を導入するなどした結果、講習実績(69回、1,581名)、相談件数(248件)ともに前年度より増加させることができました。

暴力相談については、約8割が企業等からの属性照会でしたが、そのような中でも暴力団員からの離脱や就労支援の対応に当たったほか、暴力団員が絡む事件や不当要求事案の相談に対しては、警察、民暴弁護士等と協力し、事件検挙・被害回復に向けて取り組みました。

5年度には、再開した地域・職域暴排組織等の会議やイベント等に通年ベースで出席、参加しているところです。

そして、10月3日、三重県総合文化センターで、約500名の参加を得て、「地域安全・暴力追放三重県民大会」を盛大に開催することができました。

第1部では、長年にわたり暴力追放活動に尽力された団体や個人の方々の表彰を行い、最後に参加者全員で本大会の意義を確認し、決意を新たに「大会宣言」を採択しました。

第2部では、県警察の暴力団対策室長から「暴力団情勢と対策について」と題し、暴力団の実態や排除の必要性、特殊詐欺の現状や対策など、最近の事例を取り上げながらの講演があり、その後、県警音楽隊による演奏、特殊詐欺の寸劇等が行われるなど、盛況のうちに終了しました。

今後も、センターの存在意義や事業内容の重要性について、県民の皆様方に一層の理解を求めるとともに、警察や民暴弁護士をはじめ関係機関、団体等と連携し、総力を結集した暴力追放活動を強力に推進していきます。

第31回山口県 暴力追放県民大会の開催

(公財)山口県暴力追放運動推進センター

1 第31回山口県暴力追放県民大会の開催

令和5年10月25日(水)、サンビームやない(柳井市)において、山口県・山口県警察・柳井地区暴力追放運動協議会の共催による「第31回山口県暴力追放県民大会」を参加者300名で開催しました。

開催にあたり、県知事、県議会議長、県公安委員長、山口地検検事正等を来賓に迎えております。

第一部では、当センター会長、山口県警察本部長の挨拶に続いて、会長及び警察本部長から2団体に中国ブロック表彰状、4団体に県感謝状、1団体・1個人に県表彰状が贈呈され、山口県知事、柳井地区暴力追放運動協議会会長(柳井市長)祝辞の後、柳井青年会議所理事長が「大会宣言」を行い、参加者の盛大な拍手を受け、満場一致で承認されました。

第二部では、山口県民事介入暴力救済センター委員の杉村弁護士による「反社会的勢力の確認方法と対処の方法」と題した特別講演が行われ、反社会的勢力には、警察、弁護士、暴追センターへ相談し、自分のフィールドで対応することが必要と締められました。

第三部では、堅い雰囲気を一変するアトラクションとして、県警察音楽隊による生演奏が行われ、昭和歌謡、演歌、映画音楽と幅広いジャンルで馴染みのある楽曲を演奏しました。会場には、警察音楽隊の演奏を楽しみにしていた市民も多く詰めかけており、会場は大いに盛り上がり盛況のうちに閉会しました。

2 暴排教室の継続実施

令和3年から、少年への暴力団からの影響を排除する活動の一環として、県警察本部少年課のによる薬物乱用教室の機会に併せて、中高生に対して、暴排教室を継続実施しております。暴力団の存在や暴力団の凶悪性、更には安易に闇バイトに応じることの危険性等、入口暴排の浸透を図ることができました。



第31回山口県暴力追放県民大会

未来への襻 (たすき)

(公財)福岡県暴力追放運動推進センター

当センターは、財団法人暴力追放福岡県民会議として、平成4年3月に設立し、今日まで30年以上活動を続けてまいりました。

この間には、県内の指定暴力団の分裂に伴う抗争や資金獲得をもくろんだ市民襲撃などが発生し、県民は暴力団の脅威におびえる日々を経験しました。

そのような中、平成22年全国に先駆けて、福岡県暴力団排除条例が施行されました。

この条例の施行により、これまで声を上げたくても上げられなかった、立ち上がりたくても立ち上がれなかった人々が、「よし、やろう!」と手をつなぎ、声を合わせて、少しずつですが、確実に立ち上がりはじまりました。

当センターも、県民の皆様の行動に応えるため、県警との連携を強めながら

- 暴力団事務所の撤去活動
- 暴力団組員の離脱・就労支援活動
- 県民への相談窓口の開設

等に取り組む、着実な実績を残すことで、暴力団排除気運の流れを加速させる努力を継続してまいりました。

このような現状の中、当センターでは一つのあらたな取り組みを試みています。

それは、若年層への積極的な働きかけです。

県民、企業、行政などが積み上げた暴力団排除活動は、軌道に乗りつつありますが、次世代の担い手がいなければ衰退し、先細りしていくことになります。

つまり、襻を引き受けてくれる人材を育成しなければ、再び暴力団が暗躍する社会に逆戻りすることが懸念されます。

そこで、当センターでは毎年開催する『暴力追放福岡県民大会』の場を県内の高校生や大学生の発表の場とすることで、若年層への暴排意識の拡散を狙っています。

令和5年度も11月9日開催した大会において、高校生のポスターコンクールの優秀作品の掲示や表彰を行うとともに、大学生の和太鼓部と県警音楽隊とのコラボ演奏を行いました。

まだまだ、若年層へ声が届いているとは感じていませんが、来年、再来年と回を重ねるごとに浸透していくものと信じています。





全国暴追センター・シンボルマーク
『パンチくん』

都道府県暴力追放運動推進センター相談電話

(公財)北海道暴力追放センター 011-271-5982	(公財)長野県暴力追放県民センター 026-235-2140	(公財)岡山県暴力追放運動推進センター 086-233-2140
(公財)青森県暴力追放県民センター 017-723-8930	(公財)静岡県暴力追放運動推進センター 054-283-8930	(公財)暴力追放広島県民会議 082-228-5050
(公財)岩手県暴力追放推進センター 019-624-8930	(公財)富山県暴力追放運動推進センター 076-421-8930	(公財)山口県暴力追放運動推進センター 083-923-8930
(公財)宮城県暴力追放推進センター 022-215-5050	(公財)石川県暴力追放運動推進センター 076-247-8930	(公財)徳島県暴力追放県民センター 088-677-8930
(公財)暴力団壊滅秋田県民会議 018-824-8989	(公財)福井県暴力追放センター 0776-28-1700	(公財)香川県暴力追放運動推進センター 087-837-8889
(公財)山形県暴力追放運動推進センター 023-633-8930	(公財)岐阜県暴力追放推進センター 058-277-1613	(公財)愛媛県暴力追放推進センター 089-932-8930
(公財)福島県暴力追放運動推進センター 024-572-6960	(公財)愛知県暴力追放運動推進センター 052-883-3110	(公財)暴力追放高知県民センター 088-871-0002
(公財)茨城県暴力追放推進センター 029-228-0893	(公財)暴力追放三重県民センター 059-229-2140	(公財)福岡県暴力追放運動推進センター 092-651-8938
(公財)栃木県暴力追放県民センター 028-627-2600	(公財)滋賀県暴力追放推進センター 077-525-8930	(公財)佐賀県暴力追放運動推進センター 0952-23-9110
(公財)群馬県暴力追放運動推進センター 027-254-1100	(公財)京都府暴力追放運動推進センター 075-451-8930	(公財)長崎県暴力追放運動推進センター 095-825-0893
(公財)埼玉県暴力追放・薬物乱用防止センター 048-834-2140	(公財)大阪府暴力追放推進センター 06-6946-8930	(公財)熊本県暴力追放運動推進センター 096-382-0333
(公財)千葉県暴力追放県民会議 043-254-8930	(公財)暴力追放兵庫県民センター 078-362-8930	(公財)大分県暴力追放運動推進センター 097-538-4704
(公財)暴力追放運動推進都民センター 03-3291-8930	(公財)奈良県暴力追放県民センター 0742-24-8374	(公財)宮崎県暴力追放センター 0985-31-0893
(公財)神奈川県暴力追放推進センター 045-201-8930	(公財)和歌山県暴力追放県民センター 073-422-8930	(公財)鹿児島県暴力追放運動推進センター 099-224-8601
(公財)新潟県暴力追放運動推進センター 025-281-8930	(公財)鳥取県暴力追放センター 0857-21-6413	(公財)暴力追放沖縄県民会議 098-858-8930
(公財)山梨県暴力追放運動推進センター 055-227-5420	(公財)島根県暴力追放県民センター 0852-21-8938	



全国暴力追放運動推進センター

公益財団法人 全国防犯協会連合会

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-38-1 本郷信徳ビル 6階
TEL (03) 3868-0247 FAX (03) 3868-0257

